

アマダイ通信NO. 136

(Tile fish network letter) 2020年 薔薇の花甘く

知人・友人各位

バブル崩壊、リーマンショックを遥かに凌駕するコロナ禍、元気にお過ごしでしょうか？森・加計、桜疑惑、公文書改竄の安倍総理、台風で逃げまくり、指揮放棄の森田知事の言葉に説得力はなくとも、コロナ禍の緊急事態で生活はがらりと変る。営業先も顧問先も面会自粛で開店休業。予防薬か特効薬が出来るまで最少のリスクで最大の利便を目指し、ウイルスと共存の要。経験を総括、繰り返されるだろう未知の感染症にも備える必要。リスクを冒して治療に当たる医療関係者、最低限の人間的で文化的な生活の確保のために奮闘する医薬品、食品、流通、小売業、公共インフラ事業などに従事する方々に多謝！

◎二十歳の墓標、薬師丸ひろ子から弁当を貰う

3月末でNHKの朝の連続ドラマが、信楽の女性陶芸家が主人公の「スカーレット」から、作曲家の古関裕而が主役の「エール」に替わる。丁度60年前の東京オリンピックのテーマ曲の作曲者を主人公とすることで、今回のオリンピックにエールを送ろうとしたのだろうが、コロナ禍でオリンピックは延期、出端を挫かれた感じだが、面白さに変わりはない。陶芸といい、作曲といい、芸術には全く素養がなく、音楽に至ってはからっきし駄目、度外れた音痴で生まれ、学校の音楽の時間、一人で歌わされるのは死ぬ！と言われるに等しかった。それでも二つのドラマを面白く視れるのは、登場する異才の持ち主が並べて発想豊か、凡人の予想を外れた行動で、波乱万丈、最後は己の目指すところを実現。多くは成功物語で、志半ばでの失敗を含め、山あり谷あり、読む者、視る者をハラハラドキドキ、興奮させる。門外漢、初志を貫徹出来なかった者でも共感を覚え、面白く感じる。

エールのヒロインの母親役は薬師丸ひろ子。薬師丸の母親は調理師で、渋谷区の小学校の給食現場で働く。妻も近隣の小学校で栄養士をする。1978年に映画「野性の証明」でデビュー時、薬師丸は14歳、中学生。🍀は首都圏の中学生相手に、私立高校を借り講習会や高校受験の模擬試験を手広くやる学内のアルバイト団体「東大学力増進会」で講師や教材作成のアルバイト。「革命」の志破れた後、糊口を凌ぎ、闘いの疲れを癒す。そんな時薬師丸が講習会にやって来る。朝9時から、学校と同じように5教科の授業、生徒は弁当持参。中学生と大学生、人気講師にはファンが出来る。15歳と18歳、恋が芽生えてもおかしくない。高校生になっても交際が続き、そのまま結婚するカップルも。文Iから法学部、日産に就職、ロケット部門が長い馬場君がそうだ。ゴーン改革の時に選択と集中で部門がIHIに買収され、高崎から豊洲まで新幹線通勤。一度月島でモンジャする。薬師丸も調理師の母親がつくった美味しい弁当を2個持参。一緒に食べたのは残念ながら🍀ではない。英語科で一緒に教材作りをしていた勝見明君。学増を「卒業」後、経済誌プレジデントなどを舞台にフリーライターとして活躍、セブンイレブンを創業した鈴木敏文氏のインタビュアーとして名高い。著書多数。後に彼女は歌手の玉置浩二と結婚するが、淡い恋心を抱いた相手、初恋の人ともいうべきは勝見君ではないか？

スカーレットの後半、女陶芸家の一人息子は、陶芸家として自らの作風を確立しながら、26回目の花の季節に、淡い恋心を抱いたまま、白血病で亡くなる。かつて白血病は

不治の病として恐れられていた。そんな時代に●の三番目の姉も白血病を患い二十歳で亡くなった。心通わせるボーイフレンドがいた。白神の海を見下ろす小高い丘に二十歳の墓標は立つ。女5人、男4人、子宝に恵まれたとは言え、二十歳の娘を、なす術もなく病に奪われる親の気持ちは如何ばかりだったろう。

今は血液のがん、白血病も不治の病ではなくなった。●は20年ほど前、5時間かけ盲腸諸共結腸を30センチ切除する大手術。リンパ腺も9ヶ所郭清2ヶ所にがんが転移。保険金請求の診断書に大腸がんステージ3bの判定。3bって何ですか？と主治医に聞くが教えて貰えず。岩波新書の「胃がんと大腸がん」を開く。「大腸がんステージ3b・・・ほとんど治癒する見込みなし」とある。20年前で日本人の1/3のがんにかかり、その1/2のがんで亡くなる、逆に1/2はがんから生還。今では治療法も格段に進歩し、治癒率も向上、がんも治らない病気ではなくなった。幼時には最も恐れられていた感染症の結核に感染、自然治癒するほどの免疫力。就学後のツベルクリン検査で陽性、BCG接種をしたことがなく、皆に羨ましがられた。肺の一部は石灰化したままだが、朝から日没まで夏は連日の素潜り、冬は裏山で毎日スキー、白神の四季が、失われた以上の肺活量と免疫力を与える。余命半年の大腸がんからの生還も免疫力と、敢えて言えば鈍感力の賜物か？人生百年時代と言われ、73歳は30年近くの余生。元気に働き、多少は人の役に立ちながら楽しみたい。人生百年時代と人間供がはしゃぐから、負け続けの死神が地上に遣わした使者が、新型コロナか？ペストや天然痘、スペイン風邪、結核等々と感染者・罹患率、死亡者・死亡率は各段に減少。今回も人智を結集、死神の魔手から早期に人類が逃れられることを期待したい！

◎どこまで進む？社会連帯、国際連帯

失態続きで内閣支持率が40%を割り不支持率が上回ると、支持率7、8%の固い支持層を持つ公明党の発言力が増す。野党が国民一人一律10万円の給付を主張、色々制限が多く、手続きも煩雑な政府の困窮世帯30万円給付策が不人気だとみた公明党が、野党案に乗っかり一律10万円給付案をゴリ押し、閣議決定をひっくり返す。金額は別として、国民一律に所得補填するのはある意味画期的で、社会主義的。営業自粛要請で営業を止めたり、売上が減少した飲食業などへの給付金なども同じ。欧米でも同様の政策が取られる。この間の地震や風水害などの自然災害での、生活再建への公的支援も同じ。最近まで、それらは自己責任が原則。社会連帯が進み、人類は進歩したと言えないか？

かつて他の哺乳類と違って二足歩行と道具の使用が出来るようになり、火を使うようになってからも、他の動物とだけでなく、人間同士でも食うか食われるかの争い。狩猟採集から農耕生活に移り生産性が向上、ストックが可能となり、さらに文明が発達しても、奴隷として人間も「物」同様に略奪、売り買いされる時代が極く最近まで続く。奴隷制の存続を巡りアメリカ合衆国が南北に分かれ戦ってから2百年にもならない(1861年～1865年)。ホモ・サピエンス20万年の歴史からするとほんの一瞬。産業革命を経て資本主義的な生産様式が一般的となり、「自由人」としての労働者と資本家が労働力を売り買いするようになる。資本家階級と労働者階級の対立が激化。1917年ロシアで「社会主義革命」が成功、第二次大戦後の1949年中国でも共産党が政権を握る。東欧やアジアにも「社会主義」国家が広がり、東西冷戦体制に。西側資本主義国家でも階級対立が厳しくなり、労働運動や学生運動が激化。体制の危機を感じた資本家階級は労働者階級の主張も取入れ、所得税

の累進課税や法人税の強化などによる所得の再分配、年金や健康保険などの社会福祉政策の推進で労働者階級を取込み労働生産性を向上、体制間競争に勝利。1989年ベルリンの壁崩壊で経済はグローバル化、市場は一つとなり、資本は安い労働力を求め世界中に進出。先進資本主義国では歯車が逆回転、所得税の累進課税や法人税は緩和、年金や健康保険などの社会福祉政策は後退、雇用は不安定化、中間層は減り二極化に向かい、格差が拡大。

経済がグローバル化することで、感染症も一気にグローバルに拡大。取り敢えず国境や地域を封鎖、部分的に感染を防いでもワクチンや特効薬が行き渡らない限り、再発は必至、経済もフル回転出来ない。国内の弱者にも途上国の医療過疎地にも手を差伸べない限り、根絶は困難、根絶しない限り、何回でも再発。今回の一時的な所得補償や休業補償では不足。コロナ禍が続く限り2回、3回とする必要。ワクチンや特効薬、免疫の獲得によって終息したとしても、人知には限界。未知のウイルスも存在、自然もウイルスも変化する。新たな感染症の発生は避けられない。今回のコロナウイルスも「新型」と呼ばれる。繰り返すであろうパンデミックの度にパニックに陥らない様、社会連帯を更に進められないか？今回の一時金の趣旨を進め、恒久的なセーフティネットに繋がられないか？毎月一人当たり、一家族あたり数万円から数十万円の所得を保障するベーシックインカム制度を導入出来ないか？一定の所得が保障され、最低限の生活費があれば、今回のような事態になっても途端に路頭に迷ったり、食べられなくなるということはなくなる。

財源は事業所得者や給与所得者、年金生活者を含めベーシックインカム以上の所得のある方からは、所得に上乗せされた給付金を、ベーシックインカム相当分までの余剰分を税など何らかの形で返還して貰う、又、雇用保険が余るようになるのでその分も回せる。生活保護費も不要となるので財源に出来る。一番は利子や配当などの所得を分離課税から総合課税に戻し、所得税を累進課税にすることで確保、相続税と法人税も強化すべき。冷戦体制の崩壊後富裕層が得たものを手放して貰うことで、かなりカバーされる。富裕層は国民が安心して勤勉に働き、社会が安寧であることでより多くの所得を得、生活の利便を享受、心の平安を得ているから、より多く負担して然るべきではないか？ベーシックインカムがあると怠けて働かなくなるという人もいるが、それは極く少数だろう。人はより豊かな生活、より良い生活を求め、ベーシックインカムで確保される生活に甘んじる者は少ない。セーフティネットがあることで果敢に起業したり、創作に挑戦、多様で豊かな社会が実現する。労働が神によって人間に与えられた苦役だと考える人も多い欧米と違い、日本人は働くことを自己実現、社会貢献と考える者も多い。憲法25条は文化的生活を営む生存の権利を、27条1項は勤労の権利を規定、憲法の趣旨にも合致。

併せて感染症との闘いは一国だけで解決出来ないことも明らか。国際的な連帯・支援が必要だ。古の、他の動物と、いや人間同士でも、食うか喰われるかの争いの時代から、社会連帯、国際連帯が不十分ながらも実現するほど人類は進歩、普遍性を曲がりなりにも獲得しつつあると言えないか？この機会に更に一步進められないか！

◎老々介護再開、介護保険制度に感謝

3月16日、妻が江東リハビリ病院を退院、4か月振りに再び老々介護が始まる。翌日順天堂江東高齢者医療センターで受診。自営業は時間の融通が利き、介護離職の問題は少ないが、サラリーマンは大変だと痛感。11月半ばに右大腿骨骨折で救急車で聖ルカ病院に。

人工大腿骨に置換する大手術。1 ヶ月余りで退院、西大島駅徒歩 8 分、建築間もない江東リハビリテーション病院へ。1 日 3 時間の本格的リハビリ。ほぼ骨折前の生活に戻る。駄目なら介護付き有料老人ホームを探さなければいけないが、取り敢えず、安堵。

医療施設、技術の進歩に目を瞠るが、妻の郵貯残高はこの間 310 万円減。年金の振込が 70 万円余あるから 4 か月で 380 万円。治療費は健康保険でカバーされ、殆どが差額ベッド代。コロナ禍の今、彼女が 40 年間働いた蓄えだからこんな時に使えばいいと、悠長に構えていたことを反省。(差額ベッド代が高くて有名な) 聖ルカでいいですか？と救急車の中で言われた時、他の病院にお願いします！と言わなかったことを悔いる。聖ルカの 3 万 3 千円よりはいいと、差額ベッド代 1 日 1 万 3 千円の江東リハビリ病院に急いで移る。

怪我で要介護 3 から 4 に介護認定が悪化、以前よりサービスを多く使えるように。土日の昼夜の食事時にもヘルパーさんを頼もうと言う段になり、土日にヘルパーさんを手配出来るかケアマネージャーは心配、どうにか手配出来る。待遇が余り良くないこともありヘルパーさんは人手不足。近くのリハ明石のデイサービスを週 2 日利用。昼食、入浴、リハビリサービスを受ける。デイサービスの送り迎えもヘルパーさん。週 3 回訪問リハビリ、訪問看護が 1 回。朝は☀と一緒に食べ、昼食と夕食は見守りを兼ねて食卓まで社会福祉協議会指定の弁当が宅配され、補助込み 1 食 490 円。歩行器と伝い歩きで室内移動、寝起き、摂食、服薬、トイレ、洗面は自分で出来、出張ありのフルタイムの仕事をこなし、老々介護がどうにか出来る。近くに住み、共稼ぎで二人の子供を育てる娘の助けを借りなくても済む。コロナ禍で思うようにいかないが、春、夏、冬の休み、5 月の連休には施設へのショートステイを利用、孫娘と旅行やスキーを楽しむ。たまにサンドイッチを日曜の朝食用に買い置き、土曜日車で房総に。泊り掛けで磯の香りを嗅ぐ。介護保険制度に感謝。

◎海岸デビュー、孫息子と初外泊

春休み利用の孫娘とのマレーシア縦断ツアーをコロナ禍でキャンセル、妻のショートステイも中止。3 月末の土曜日朝、車椅子を押し、妻を退院後初めて美容院に連れて行く。帰りスーパーマルエツに寄り買い物。翌朝の妻の食事用に日持ちするサンドイッチを買い、甜茶を沸かし、ヨーグルトにジャムを添え、皮ごと食べられる種無しブドウを洗い、ラップして冷蔵庫に。昼と夜の宅配弁当は今一というので、大根をおろして好きな明太子を載せる。久し振り上野松坂屋の地下で買った氷頭を、食べやすく小さく刻み、美濃吉の二色なますであえる。マルエツで買ったもずく酢も小皿に入れ、ラップ。クリームパンも食べたいという。序でに好きな安納芋の焼き芋も買い、美容院に迎えに。

甲斐甲斐しく主夫をした後、娘と小 5 の孫娘の 3 人で越後湯沢へ、翌日三俣神楽で最終ラン、「3 密」を避け母子の巣籠りストレスを発散させてやる積りが、娘は体調不良。全寮制の伊豆の中央区立宇佐美学園で学ぶ孫娘を、初めて南房総江見のオンボロリゾートマンションに連れて行こうか？という、5 歳の孫息子も一緒すると言う。スキーシーズンはご無沙汰、東京湾アクアラインを利用、君津インターで館山道を降り最短 1 時間半で着く筈が、君津インターで降り忘れナビは鋸南保田で降りろという。中古で買った車のテレビを初めて使い子供たちは DVD でアニメを楽しむ。長嵯街道をクネクネ 3 時間近く、夕闇迫る江見の海岸へ。途中鴨川の TSUTAYA で少女小説 3 冊と DVD プレーヤーを買う。孫息子も絵本を欲しがる。この機会に孫娘には普段出来ない勉強をさせたいが、ゲームばかり

やって娘をイライラさせている。いつもと違う環境で読書に勤しんでくれると嬉しい。去年の夏は海岸通りから浜辺へ踏み出そうとしなかった孫息子、孫娘と手をつなぎ嬉々として駆け下りる。あの頑なな拒絶は何だったのか？汐の引いた岩場に足を踏み出し、海草を踏んで滑りあわや海中に。サザエやアワビ、ツブやヒザラ貝、アサリやハマグリなどの貝殻を拾い大喜びの海辺デビュー。小さな蟹も見つけ大興奮。取り敢えず海彦に一步。

日曜朝も少女小説を読み耽り、恐竜図鑑の付録のDVDを繰り返し再生する二人。先ず興味のあるところから。DVD付図鑑と少女小説をもっと用意、知的好奇心、読書欲を刺激してやろうと、手応えを感じる。頃合いを見て海辺に誘い、又、貝殻拾い。白く浪立つ渚、その先は穏やかに光る。大海原に泳ぎ出し豊饒の海に素潜り、春うららの海辺で、小舟を背に光る海を見やり活字を追う。見晴るかせば山は黄金に色づき、透き通った海底を蠢く魚は竿先を動かしてくれず、握る竿のその先をぼんやり眺め、じっと物思いに耽る。各々の季節に至福の刻がある。幼時は知らず、今にして思う。何と豊かな時を過ごしたことか。血を分けた幼児に数分の一、いや万分の一でも、海山の記憶を伝えたい。伝えたいもの、いや伝えなければいけないものがある。この期に及んで爺は思う。

の三度目の韓国ツアー

「百済・新羅2つの文化を巡る韓国南部周遊4日間」(19.3.31~4.3、旅物語)(Ⅱ)

③ 早すぎた？辛い国

露店の集合体のような市場、西門市場で食事。衛生的とは言えないビニールの天幕で囲っただけの露店も多い。新宿西口のジョンベン横丁の店の様な壁、天井、ドアもしっかりある40年以上続くという老舗の店で、牛骨付きばら肉カルビを甘辛く味付け、野菜や茸と蒸したチムカルビの夕食。各種のナムルは勿論、キムチも余り辛い。ライスは赤飯色の雑穀米。地ビール1本開け、仲間がマッコリを美味しそうに飲むのを見、1本頼むが飲みきれず鞆の中に。孫娘は辛いのは全く駄目、モヤシなどの辛いナムルとライスだけパクつく。韓国に連れて来るのは少し早かったかと反省。ほろ酔いで初日最後の観光、水城遊園地の夜桜散策。日本人がつくった巨大農業用溜池が、一大レクリエーション・観光地に発展、レジャー施設やレストラン、ホテルが集積、市民と観光客の休養と憩いの場になっているとガイド。韓国でも日本人の功績として認められている。湖畔に植えられた桜が満開、ライトアップされた桜の花のトンネルを、老若男女がカップルで、ファミリーでさんざめく。突然今度は孫娘のメイが「トイレに行きたい！」という。植え込みの陰でしたらと、2回、3回と試みるがその都度人が通り掛り失敗。観光案内所に駆け込むと女性ガイドの李さん。広い公園の隅のトイレを教わる。二人で長距離走、間一髪セーフ。

ホテル1階のコンビニで目覚めのコーヒー、千ウォン、百円。自販機の上の袋入りインスタントコーヒーの袋を開け、粉を入れカップに湯を注ぐ。値段は同じだがコンビニコーヒーは日韓で随分違う。朝食はワカメスープがメイン？のバイキング。ツルツルして肌にも、髪にも、健康にもいいワカメが韓国人は大好き。毎日ワカメスープを吸うが、ツルツル滑るので、試験日の朝には食べないという。今回の韓国料理も余り辛い。魚の唐揚げや秋刀魚の甘辛煮は骨が硬い。大きな緑の唐辛子、大きいのは辛いというが、パス。メイは皆辛いからと、黄色い汁そばと味付け海苔でライスの、炭水化物食。味付け海苔が美味しいとパクパク。食後のコーヒーは無料。カップ無しの自販機のスイッチを入れると、

カップが降りてくる。レギュラーコーヒーの自販機も色々。店の外に出、食材庫のような通路の奥のトイレにゴミ箱。紙はつい流してしまう。長年の習慣は俄かに変えられない。

川に沿ったり横切ったり、190 キロ離れた公州へ向かう。満開の桜並木が綺麗。韓国の皆さんもこんなに桜が好きだったとは！韓国的高速道路の制限速度は 100 キロだが、110 キロのところも。高速交通で生産性は上がるが交通事故の件数は増えないか？前日観光した西門市場を通る。野菜や魚などの生鮮食品が場外にまで溢れ大盛況。中古家電の市場も盛況。家電も流行り廃りがあり、新しい家電が流行ると古い家電が中古で流通する。今流行っているのが自動乾燥洗濯機、韓国人は忙しい人が多いからという。桜並木が綺麗だが工事中とのことで大渋滞、予定は 2 時間だが時間通り着くか？凄い勢いで飛ばす。120 キロか 130 キロほど出していないか？郊外に出ると畑にはシルバーや黒のビニールハウスが多い。最近韓国では農業にも力を入れ若者の参入も多く、農産物の輸出が 8 千億円に迫るという。日本を上回る勢いだ。そう言えば前日の西門市場、アマオウやトチオトメの苺がワンパック 250 円ほど、日本の半値で沢山売られていた。日本の苺だが特許登録していないので、苗が持ち出され韓国で広く栽培、アジアに輸出される。サービスエリアでトイレ休憩。トイレはゴミ箱なしできれい。紙は水に流していいが、ウォシュレットまではない。ガチャをやりたいとメイ。千ウォンか 2 千ウォンだが硬貨はない。脇に両替機らしきもの。千ウォン札を入れると硬貨が 2 枚、ガチャで捕った百円の指輪でニコニコ。

④ 世界遺産で孫娘と徒競走

公州に入ると 東レの大きな工場と社宅。東レは確か韓国で炭素繊維を製造していた筈。山がちな韓国、傾斜地にもビニールハウスや果樹畑、ソーラーファームも。畜産も盛んなよう、あちこち白いビニールでパックされた牧草が野積み。高速道路を走っていてもハンデル文字を除けば、韓国を走っているのか？日本を走っているのかわからない。沿道に円く土盛りされ、綺麗に芝が張られたのが墓だという。芝はすぐ伸びるので手入れが大変。日本の様に集落全体の墓が大きく一ヶ所にまとまってある訳ではなく、数個の円墳があちこちにある。日本と違うところ。家族や同族だけの墓。火葬だけの日本と違って、土葬と火葬が半々だという。

半島の東側日本海に近い大邱から、西側黄海に近い忠清道公州着。人口 11 万人ほど、百濟時代は熊津（ウンジン）、熊の港と呼ばれた。熊の出没する川沿いの都だったのか？475 年から 63 年間都が置かれた。まずは榮山里（ソンサルリ）古墳群へ。1971 年に発見された武寧王陵は盗掘されずに残り、金冠を始めとする豪華絢爛な装飾品が出土。狩猟採集から農耕の時代に移り、保存可能な穀物を主食とするようになり富の蓄積が可能となる。貧富の差が拡大、職業も分化、支配・被支配の関係が発生、富める者は支配者として自らをきらびやかに飾り権威づける。次の世でも同じような生活が出来る様、それらの物も一緒に葬り土を盛る。なだらかな丘に高速道路脇に見たお墓を巨大化した円丘状の大きな墳墓が 7 つ散らばり、大きな丘全体が古墳公園としてきれいに整備される。横穴の入口は封鎖され中は見られない。入口に描かれた内部の装飾などを見ると、1 世紀ほど遅れる日本の高松塚古墳やキトラ古墳にもつながるのだろうかと思いを逞しくする。近くに武寧王陵の出土品を中心に展示する国立公州博物館があるが、寄る時間なし。ひと山隣の公山城へ。百濟がソウルから公州に都を移した際、錦江（クムガン）を見下ろす地に城を築いたが、

今は城郭はない。山の頂上から西側の峰までの稜線に、朝鮮時代に築かれた石造の城壁跡に沿って歩む。人が築きし物は壊れ、錦江は変わらず流れる。盛者必衰の理か。古城よ一人何偲ぶ。かつて並べた舟の上に架けた木橋の跡が残る。その近く 2 本、3 本とコンクリートや鉄の橋が走る。

世界遺産の旅のランチは、2 つの世界遺産の間の街で焼き魚定食。日本の伝統木造建築の数寄屋造りとは趣の違った、凝った素木造りのレストランが並ぶ。大皿に鯖や秋刀魚、カレイの焼き魚が置かれ、日本なら指先と箸で背と腹に分け更に等分するところを、鋏で切り刻み四人で分け合い食べる。何とも豪快で大胆、合理的でスピーディ。焼肉でも裁ち鋏を使うが、文化の違いが鮮やか。大胆、合理的、スピーディは、家電、半導体、造船と、大胆な巨額投資で日本に追いつき、あつと言う間に追い越して行った、経営スタイルに繋がるのか。各種キムチとナムルも当然のように並ぶ。和食のお新香と味噌汁の様に、食事には欠かせない。CCR の地ビールを 4000 ウォンで頼んだ[●]は、辛い物が苦手、一緒に食べる物が少ない、食欲旺盛な孫娘に白いご飯をプレゼント、安東へ。

世界遺産安東河回村散策だけのために！？183 キロ、2 時間半のバス旅。河回村は農村での両班（貴族）の子孫が今も暮らし、その生活様式を保存している民俗村。洛東江上流部の花川が大きく蛇行する部分にあり、三面が川に囲まれ南と北には眺望がいい絶壁。のどかな田園に囲まれた村内への車の乗り入れは禁止され、運転手付の有料の電気自動車もあるが、今でも人が住むという世界遺産の家々を徒歩で見学。瓦葺きの家は両班の、可愛く見える藁葺き屋根の家は使用人の家だろうか？日本の古民家は藁葺きではなく萱葺きだが、ワラよりカヤの方が耐久性があり立派に見える。何故カヤではなくワラなのか？カヤは手に入れにくいのか？軟らかいワラは牛などの餌や家畜の敷き藁、肥料と有効な使い途があった筈だが、萱が少なかったのか？使用人の目から両班を風刺する仮面劇も伝えられ、お土産屋で个性的なお面のマグネットを買おうとするが、宝石とコスメの免税ショップでは暇をもて余すのに、ここでは自由時間がなく買いそびれる。川の土堤の広い道、メイが競走しようという。孫娘の方が先にゼイゼイ。小 4 の女の子にはまだ駆けっこでは負けない。大邱まで 110 キロ、1 時間半の旅。（続）

◎富士フィルム古森会長の講演延期、長崎の新拠点で人材募集

デジタル化による本業消失の危機から会社を救い、第二の創業を導いた富士フィルムの古森重隆会長（長崎西高、S34 年入寮）に、5 月に三鷹クラブで講演して頂く予定がコロナ禍で延期。富士フィルムは本業の徹底的な構造改革と同時に医療機器事業を拡大、フィルム技術を生かし液晶テレビやパソコン、携帯電話などに使われる偏光板保護フィルムなどの高機能材料、さらには化粧品にも進出。医薬品への展開では富山化学や和光純薬を買収し時間を買ひ、今回のコロナ禍で富山化学のアビガンが新型コロナウイルスの特効薬として、和光純薬の技術は検査薬として脚光。古森先輩の慧眼にはただ敬服するのみ。

長崎出身で長崎市役所に勤め、企業誘致に励む前田耕作君（93 年入寮）から「昨年は、[●]さんに積水化学の大久保（元社長、会長）さんやジョルダンの佐藤社長にご紹介頂きありがとうございます。長崎市の誘致企業で、長崎西高から東大経済学部に進学した古森重隆さんが会長をされている、富士フィルムグループの人材募集につきご案内させていただきます。近年長崎大学や長崎県立大学で情報関連学部が新設されたことなどを受け、長崎には

富士フイルム、京セラ、デンソー、ゼンリンなどが IT 関連の研究開発拠点を相次ぎ開設、これらの企業はかつて海外への窓口として栄えていた出島地区に拠点を設け、新たな製品やサービスの開発に取り組んでいます。誘致企業の一つである富士フイルムグループ（富士フイルムソフトウェア（株））で、長崎で働く中途人材を募集しています。募集職種等については、下記 URL の通りですが、アプリやソフトウェアの開発を行う経験者を募集しています。<http://ffs.fujifilm.co.jp/jobs/experienced/index.html> 首都圏と同様に高度 IT 人材の方々がやりがいを持って働ける場なので、三鷹寮 OB の先輩方の知り合いの方や三鷹宿舎の若い卒業生で、九州出身で U ターンを考えている人、釣りが好きな人、子どもを自然豊かなところで育てたい方などがおられたら、紹介してもらえると助かります。長崎市商工部産業雇用政策課 前田耕作
e-mail : mae7827@yahoo.co.jp TEL : 090-5748-0223 (mobile)]

◎赤坂のスペイン料理屋で寮生と「最後の晚餐」、ルミネに生ハム！

3月12日夕方、休み中だが在京の寮生と、能代高校の後輩の赤坂の馴染みのスペイン料理屋グランヴィアで「最後の晚餐」。秋田の自社牧場産の熟成生ハムが売り。JR 東日本の副社長時代からお世話になっているルミネ社長、会長を歴任した新井ルミネ相談役に紹介、新規開店のピザ屋3軒で生ハムを試験的に使って頂くことに。余勢を駆い JRE の子会社、高級スーパー紀伊国屋の女性社長、浅間さんにもお会いして頂く。紀伊国屋でも生ハムを使って貰い、ピザ屋が軌道に乗って多店舗展開すれば、200頭飼う秋田は田沢湖の農場だけでは生ハムが不足する。越後湯沢の GALA スキー場でも豚を飼って生ハムをつくってはどうか？豚が走り回ればスキー場の草刈りの手間も省ける。ハムと豚肉をスキー場のレストランで使える。スキー場にピザ屋やスペイン料理屋もつくれないか？妄想する。

折から半世紀前の映像を再編集した映画「三島由紀夫 vs 東大全共闘」が話題。🐷も呼び掛け人の一人になり刊行した「続・全共闘白書」（情況出版社）も初版を売り切り、増刷版を販売中。アンケートに応えた仲間の多くが、今の自分が同じ立場に立ったら、同じように闘うと言う。目の前の若者も半世紀前の🐷と同じ立場に置かれたらどのような行動を取るだろうか？などと考える。参加者は Dhruv Iyer (2019・理 I 機械情報工学科・インドムンバイ)、高橋琉弥 (2019・理 I ・兵庫・西宮)、田名部琉 (2019・文 II ・京都・嵯峨野)、橋本侑京 (2019・理 I ・高知・土佐)、森原 ソフィア 遥 (2019・理 II ・熊本・人吉)、OB が北條新之介 (2015 (院) ・総合文化研究科地域文化研究専攻アジア科中国・栃木・真岡→東北大)、🐷 (1966・文 I 法・秋田・能代)

◎人はいつから「人類」になったのか？なれるのか？（結びに代えて）

長生きするとオイルショック、バブル崩壊、リーマンショックと幾つも経済・社会危機を経験するが、今回の新型コロナ危機ほど広く、深く、急で、身近かに感じた「危機」はない。高校時代に読んだノーベル賞作家スタインベックの「怒りの葡萄」を思い出す。背景となる時代が違い現象するものも違うが、大恐慌で経済が急激に収縮する中で多くの人々が昨日までの生活が出来なくなり、明日どうするか苦しむ。第二次世界大戦に突き進むことでしか解決出来ず。歴史は繰り返すというが、人の歴史を俯瞰すれば「類」としての普遍性を獲得する歴史でもあった。歴史は又、単純には繰り返さない。信じたい。再見！